

益子町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (令和2年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 30年度の人件費率
令和 元年度	人 22,879	千円 8,563,610	千円 311,831	千円 1,356,646	% 15.8	% 17.4

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

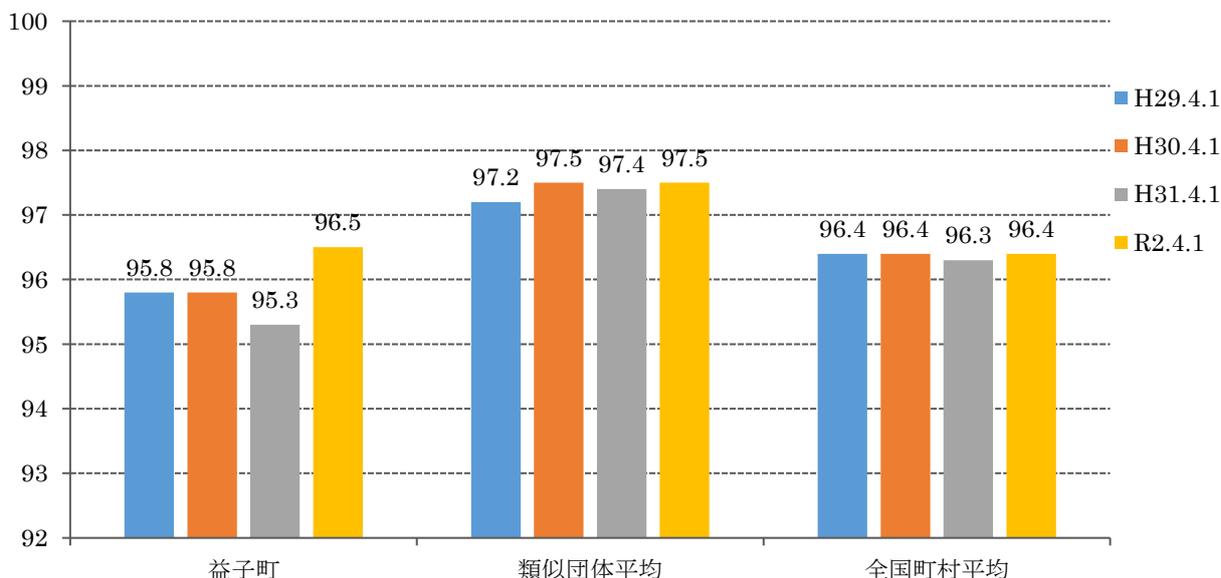
区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当 たり給与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
令和 元年度	人 136	千円 564,191	千円 78,316	千円 192,223	千円 834,730	千円 6,138	千円 5,649

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、平成31年4月1日現在の人数である。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(4) 給与改定の状況

益子町では人事委員会を設置していないため、人事院の勧告に準じた給与改定を行っている。

- ① 月例給 改定なし（国と同様）
- ② 特別給（期末・勤勉手当） 4.50月→4.45月（国と同様）

（注）令和2年度は人事員勧告により、令和2年4月1日に遡って特別給の改定があったため、改定後の数値を記載している。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

- ① 給料表の見直し

[実施]

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日

（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。高齢層については最大4%引下げ。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

- ②その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和2年4月1日現在）

- ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
益子町	40.2歳	300,300円	354,150円	320,910円
栃木県	43.0歳	330,675円	407,049円	362,213円
国	43.2歳	327,564円	—	408,868円
類似団体	40.9歳	305,199円	358,741円	332,831円

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国比較ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	A/B
益子町	58.9歳	5人	240,100円	248,420円	241,400円	—	— 歳	— 円	—
うち用務員	61.5歳	5人未満	193,600円	198,600円	193,600円	用務員	55.9歳	207,900円	0.96
うち自動車運転手	— 歳	— 人	— 円	— 円	— 円	自家用乗用自動車運転者	58.5歳	209,300円	—
うちその他	* 歳	* 人	* 円	* 円	* 円	—	— 歳	— 円	—
栃木県	54.6歳	236人	328,696円	371,538円	350,528円	—	— 歳	— 円	—
国	50.9歳	2,319人	287,283円	— 円	328,862円	—	— 歳	— 円	—
類似団体	51.8歳	9人	275,991円	293,531円	285,569円	—	— 歳	— 円	—

区 分	参 考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
益子町	4,037,640円	—	—
うち用務員	3,168,600円	2,862,400円	1.11
うちその他	* 円	— 円	—

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和2年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

3 技能労務職の表における注意点

①民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している(平成29年度から平成31年度の3か年平均)。

②技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

③年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

4 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1～2人の場合はアスタリスク(*)とし、3～4人の場合は「5人未満」として記載している(その他、数値の無い欄については、全てハイフン(-)としている)。

(2) 職員の初任給の状況(令和2年4月1日現在)

区 分		益子町	栃木県	国
一般行政職	大学卒	171,700円	188,700円	182,200円
	高校卒	150,600円	154,900円	150,600円
技能労務職	高校卒	147,900円	152,700円	—
	中学卒	139,900円	139,900円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（令和2年4月1日現在）

区	分	経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	238,470円	339,440円	375,350円	400,133円
	高校卒	— 円	— 円	* 円	— 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円	— 円

(注) 1 近似のデータが無い場合はハイフン(—)、該当者が1～2人となるデータについてはアスタリスク(*)としている。

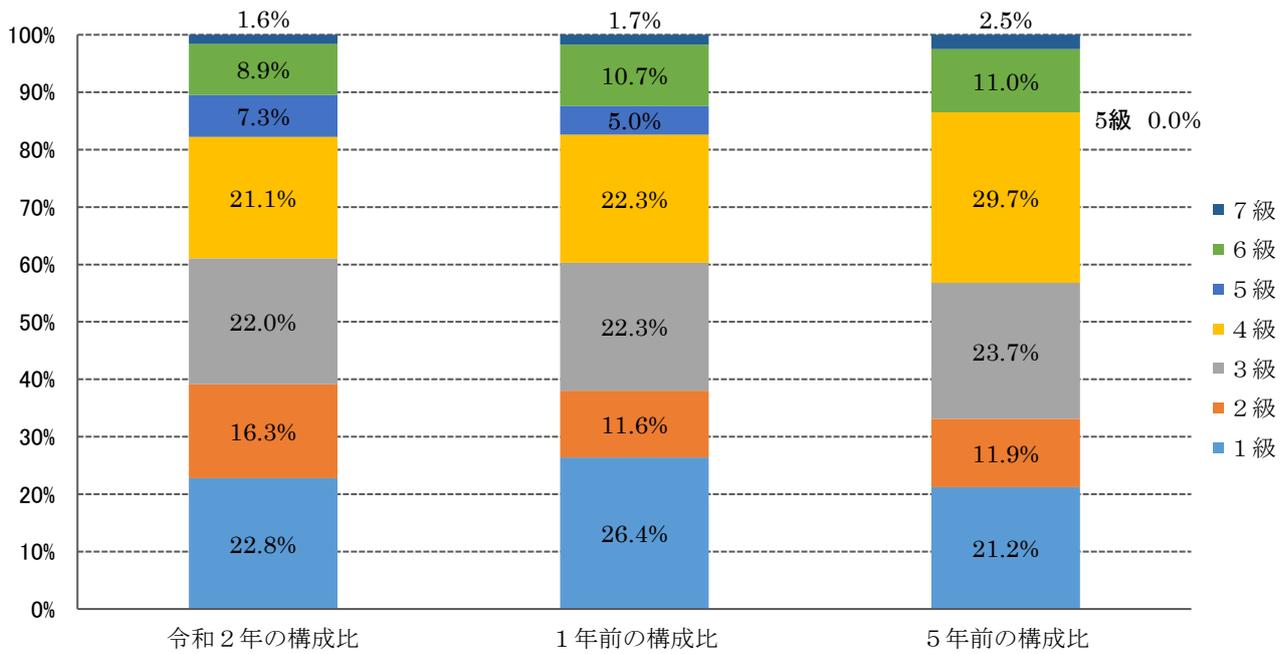
- 2 「経験年数10年」の職員は経験年数 9年～11年の平均値となっている。
- 3 「経験年数20年」の職員は経験年数19年～21年の平均値となっている。
- 4 「経験年数25年」の職員は経験年数24年～26年の平均値となっている。
- 5 「経験年数30年」の職員は経験年数29年～31年の平均値となっている。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

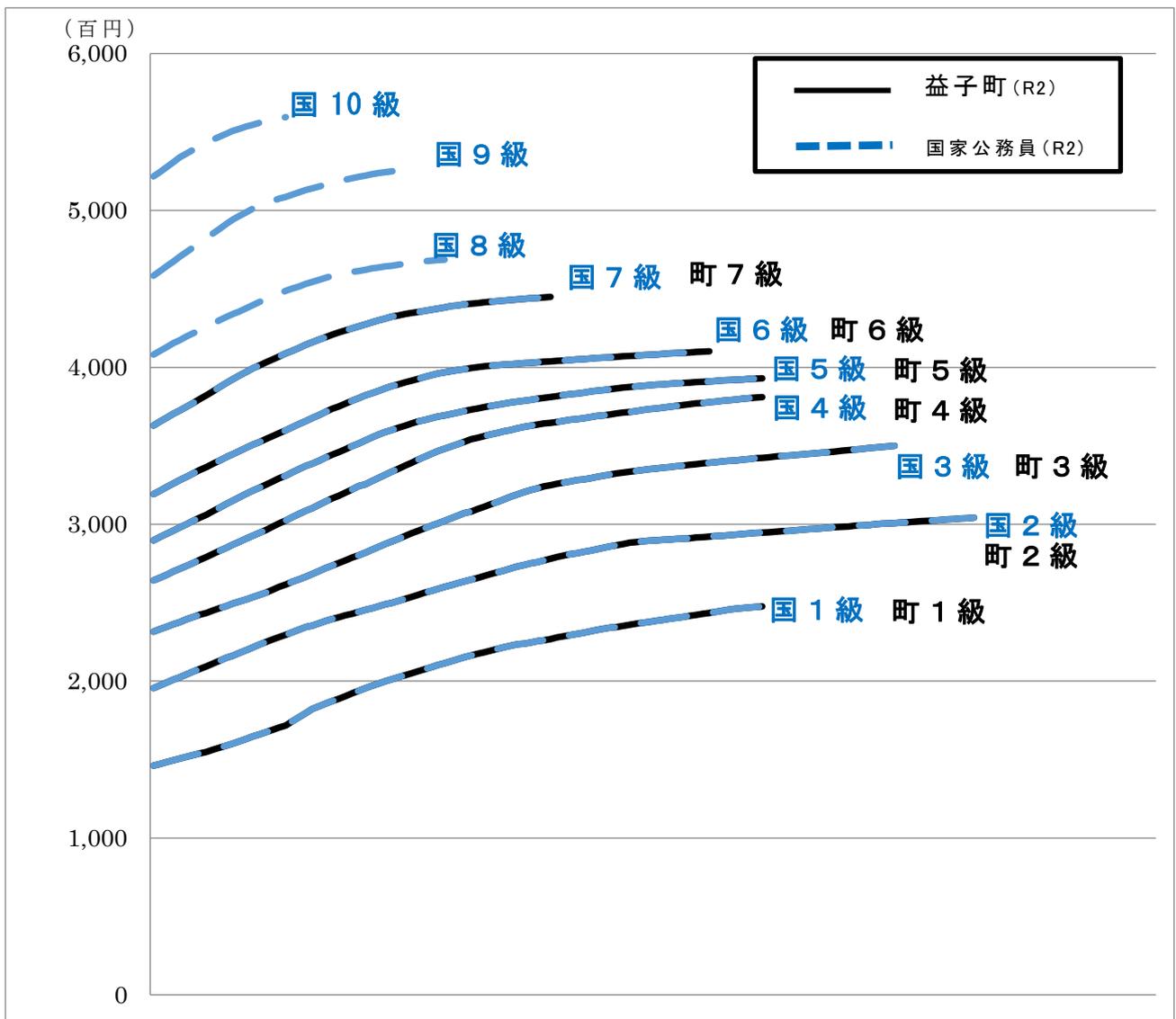
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和2年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7級	部長	2人	1.6%	362,900円	444,900円
6級	課長・局長・主幹	11人	8.9%	319,200円	410,200円
5級	副主幹	9人	7.3%	289,700円	393,000円
4級	係長・主査	26人	21.1%	264,200円	381,000円
3級	主査・主任	27人	22.0%	231,500円	350,000円
2級	主任	20人	16.3%	195,500円	304,200円
1級	主事・技師・主事補・技師補	28人	22.8%	146,100円	247,600円

- (注) 1 益子町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
- 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和2年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（益子町）

令和2年4月2日から令和3年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

益子町	栃木県	国
1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,406 千円	1人当たり平均支給額（令和元年度） 1,742 千円	—
（令和元年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	（令和元年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分	（令和元年度支給割合） 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.90 月分 (1.45)月分 (0.90)月分
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～22%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

（注）（ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（益子町）

令和2年度中における運用		管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している		○		○	
活用している成績率		支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率		○		○	
上位、標準の成績率					
標準、下位の成績率					
標準の成績率のみ（一律）			○		○
ロ. 人事評価を活用していない					
活用予定時期					

(2) 退職手当（令和2年4月1日現在）

益子町			国		
（支給率）	自己都合	応募認定・定年	（支給率）	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	最高限度額	47.709月分	47.709月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
・定年前早期退職特例措置 （割増率2～45%） （退職時特別昇給 なし）			・定年前早期退職特例措置 （割増率2～45%）		
1人当たり平均支給額	0円	19,526千円			

（注） 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（令和2年4月1日現在）

益子町では、地域手当の支給対象地域ではないため支給実績なし。

(4) 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

支給実績（令和元年度決算）		0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）		0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度）		0 %		
手当の種類（手当数）		3		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （令和元年度決算）	左記職員に対する 支給単価
	感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する作業に従事した職員	感染症の予防業務	千円 0	日額 1,000円
	行旅病等死体収容に従事した職員	死体収容業務	千円 0	1体 3,000円
	町税の賦課および徴収に関する事務に従事した職員（現在は支給を凍結中）	税務事務	千円 0	1月 1,500円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（令和元年度決算）	31,727 千円
職員1人当たり平均支給実績（令和元年度決算）	223 千円
支給実績（30年度決算）	25,561 千円
職員1人当たり平均支給実績（30年度決算）	181 千円

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和元年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（令和2年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績（令和元年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算）
扶養手当	○扶養親族のある職員に対して支給 ・扶養親族である配偶者 6,500円 ・子ども1人につき 10,000円 ・親など1人につき 6,500円 ○加算措置 ・満16歳到達年度の4月から満22歳到達後の3月までの子1人につき、5,000円を加算	同じ	—	千円 15,119	円 239,984
住居手当	○借家の場合 ・家賃27,000円以下 家賃額－16,000円 ・家賃27,000円超～61,000円以下 （家賃額－27,000円）×1/2 ＋11,000円 ・家賃61,000円超 28,000円	同じ	—	千円 9,347	円 389,473
通勤手当	通勤距離（片道2km以上）区分に応じ支給 3,000～21,000円 など	異なる	距離区分	千円 11,371	円 83,613
管理職手当	管理職員（部長・課長級）に対し支給 ・部長：72,700円 ・課長：49,900円 ・主幹：45,700円	異なる	職の区分及び支給率	千円 10,607	円 662,940
管理職員特別勤務手当	週休日等の緊急必要時等における勤務に対し支給 6,000～7,000円	同じ	—	千円 263	円 16,438
日直手当	週休日等における日直勤務に対し支給 4,400円（年末年始 8,400円）	同じ	—	千円 1,443	円 10,687

5 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等	
給 料	町 長	750,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額
	副 町 長	610,000 円	890,000 円 / 385,000 円
報 酬	議 長	350,000 円	730,000 円 / 530,000 円
	副 議 長	290,000 円	445,000 円 / 271,000 円
	議 員	255,000 円	375,000 円 / 217,000 円
期 末 手 当	町 長	(令和元年度支給割合)	
	副 町 長	3.35月分	
退 職 手 当	議 長	(令和元年度支給割合)	
	副 議 長	3.35月分	
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式)	(1期の手当額)
	副 市 町 村 長	給料月額×在職月数×42/100	15,120,000 円
	備 考	給料月額×在職月数×25/100	7,320,000 円
			(支給時期) 任期毎

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分		職員数		対前年増減数	主な増減理由
			令和2年	令和元年		
普通会計部門	一般行政部門	議会総務	2	2	0	総務部長が企画課長兼務 業務見直しのため 介護休暇取得予定職員の補充のため 土地区画整理事業による人員増 民生部長が高齢者支援課長兼務 業務見直しのため
		税務	12	13	▲1	
		農林水産	11	11	0	
		商工	13	12	1	
		土木	10	9	1	
		民生	15	16	▲1	
		衛生	12	13	▲1	
		計	107	109	▲2	<参考> 人口1万人当たり職員数 46.77 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 61.16 人)
	教育部門		29	27	2	国体推進係配置
	小計		136	136	0	<参考> 人口1万人当たり職員数 59.44 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 76.43 人)
公営企業等部門	下水道その他		3	3	0	産休予定職員の補充のため
	小計		14	13	1	
	小計		17	16	1	
合計			153 [205]	152 [205]	1 [0]	<参考> 人口1万人当たり職員数 66.87 人

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (令和2年4月1日現在)



区 分	20歳 未 満	20歳 〜 23歳	24歳 〜 27歳	28歳 〜 31歳	32歳 〜 35歳	36歳 〜 39歳	40歳 〜 43歳	44歳 〜 47歳	48歳 〜 51歳	52歳 〜 55歳	56歳 〜 59歳	60歳 以 上	計
職員数	0 人	4 人	10 人	23 人	24 人	18 人	16 人	16 人	18 人	10 人	11 人	3 人	153 人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部 門 別 \ 年 度	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	過去5年間の 増減数(率)
一般行政	108	108	108	109	109	107	▲1 (▲0.9%)
普通会計計	135	136	137	137	136	136	1 (0.7%)
公営企業等会計計	15	15	15	18	16	17	2 (13.3%)
総合計	150	151	152	155	152	153	3 (2.0%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。